

11/22 400年以上の歴史を持つ優美な踊り
正木の花とり踊り



愛媛
CATV
動画



正木地区で愛媛県指定無形民俗文化財「正木の花とり踊り」があり、歓喜光寺の境内で優美な踊りが披露されました。

この踊りの起源は、一説によると花賀^{はなが}という悪者が村を荒らし回って難儀したため、村人が花踊り戦術で討ち取ったところ、不幸が続いたことから花踊りで花賀の霊を慰めたのが始まりと言われており、花賀踊りが転じて花とり踊りと呼ばれるようになったと伝えられています。

本来なら正木権現堂前、歓喜光寺境内、旧庄屋蕨岡家の庭の3カ所で踊りますが、この日は何十年ぶりの雨での開催だったため、歓喜光寺の本堂の中だけで行われました。踊り子8人(本来は12人)が鉦叩き3人と太鼓叩き2人の刻む音に合わせて、前半は全員が長刀を持って踊り、後半は長刀4人と鎌4人に分かれて斬り合うように踊りました。

正木地区の行政協力員を務める岡本健^{けん}さんは、「この雨が新型コロナウイルスを洗い流し、来年は新しいメンバーを入れて正規の人数でやれるように後継者育成をしていきたい」と話しました。

11/24 みんなで元気にプレー! 第18回町老連グラウンドゴルフ大会

南レク御荘多目的広場で、町老人クラブ連合会による「第18回町老連グラウンドゴルフ大会」が、晴天の中、行われました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、124人が参加し、競技を通じて交流を深めました。

【順位】

優勝: 大本 ^{やすひろ} 康弘さん(広見)
準優勝: 山口 ^{ひでこ} 英子さん(山出)
3位: 鎌田 ^{たけし} 猛(魚神山)



▲左から 山口英子さん、大本康弘さん

11/27 88カ所のお地蔵様をお参り 健康ウォーク～ミニ四国巡り～



愛媛
CATV
動画



平城公民館と御荘B&G海洋センターの共催による「健康ウォーク～ミニ四国巡り～」が行われ、町内から40人が参加し体力作りを兼ねて地域を巡りながら88カ所のお地蔵様をお参りました。

このお地蔵様は大正時代、地元の住民が気軽に四国巡りを体験できるようにと、2体で1対のお地蔵様が88カ所、番外の1体のみのお地蔵様が1カ所設置されました。

参加者は観自在寺にある1番のお地蔵様にお参りをすると河川敷や住宅街、山の中にあるお地蔵様を巡りました。ミニコースの参加者は八幡野集会所付近の43番を終点としましたが、通常コースの参加者は松軒山で昼食を取った後、88番のお地蔵様がある観自在寺を目指して約4時間の道のりを完歩しました。

昨年に続き二度目の参加となる蓮本由美子さんは、「孫が1年生になったのをきっかけに参加し、今年も楽しみにしていました。今回は3歳になる孫もミニコースに参加しましたが、一人で歩き切って偉かったです」と家族で歩き切った喜びを話しました。



▲さまざまな場所のお地蔵様を巡る参加者たち

11/28 高齢者のふれあい交流
緑グラウンドゴルフクラブ設立5周年記念大会



▲緑グラウンドゴルフクラブの皆さん

緑小学校グラウンドで「緑グラウンドゴルフクラブ設立5周年記念大会」が開催され、会員32人が参加しました。

今大会はクラブ設立を記念し、高齢者の健康増進と地区での交流を楽しむ生きがいづくりを目的として開かれました。

競技は3ラウンド24ホールの個人戦で行われ、和気あいあいとした雰囲気の中、ホールインワンが出ると拍手して盛り上がるなど、選手たちは楽しんだ様子でした。

快晴で暖かい日になって良かったと話す澤本誠^{まこと}会長は、「一つの区切りとして5周年記念の大会ができ、皆さんが楽しく交流ができて良かった」と感想を述べました。



▲はつらつとしたプレーをする選手



▲左から（優勝）澤本誠さん、（準優勝）中平尚武さん、（3位）青木昌訓さん

文化団体 **活動紹介**

【愛南町文化協会の加盟団体などの活動を紹介します】

城辺俳句会

代表：大和田 いそ子

- ▶活動日時 毎月第4土曜日 13:30～15:30
- ▶教室場所 城の辺学習館
- ▶問い合わせ先 城辺公民館（電話：72-0065）
- ▶会員

氏名			
大和田 いそ子	宮田 志賀子	加納 幸子	山田 静恵
大浜 紀子	橋本 百代	吉田 丸美	山本 節子
田村 治子	仙波 登志子		



▲後列左から 大和田さん、橋本さん
前列左から 山田さん、宮田さん、吉田さん

初心者でも大歓迎です。
よろしければ、見学にお越しください。

城辺俳句会の皆さんです。平成17年から活動しており、70代を中心に会員10人が在籍しています。

城の辺学習館で毎月行われている句会では、会員それぞれが作った句の中で良いと思われる句を選び、その後感想や意見を述べ合い、切磋琢磨しながら句作りの上達を目指しています。

作品は、会の冊子に掲載したり、愛南町の文化祭などに出品したりしています。

普段の生活で楽しみながら句材を探している代表の大和田いそ子さんは、「若い人にも入会をしていただき、会員みんなで良い俳句が作れるように頑張っていきたい」と今後の目標について話しました。